

「概要」欄

教育上の能力に関する事項の各項目、職務上の実績に関する事項の各項目について、200字程度で具体的に記入してください。

- ※ 上記の200字程度という目安は、厳密なものではありませんが、必要にして十分な内容を記述してください。
ただし、実務歴が業績の中心となる実務家教員等にあつては、職務上の実績に関する事項として、本人の当該専門分野に関する実務の経験等について、近年の当該分野の実務に関する状況に通じていることなども含め200字にこだわらず、詳細に記入してください。

(その2)

教育研究業績書		
令和 年 月 日		
氏名 ㊟		
研究分野	研究内容のキーワード	
<div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px;"> <p>① 「研究分野」の欄には、科学研究費補助金の「系・分野・分科・細目表」の分科レベルの名称を用いて、研究分野の主なものを3つ以内で記入してください。「研究内容のキーワード」の欄には、同表の細目を参考に、研究内容を現すキーワードを5つ以内で記入してください。なお、分科レベルに該当がない場合は、適宜記入してください。</p> <p>② 実務の知識や経験を有する者（大学設置基準第14条第3号及び第6号、第15条第5号、第16条第2号、第16条の2第3号に該当する者）として審査を希望する場合には、「研究分野」の欄に「〇〇に関する実務」と記入し、「研究内容のキーワード」の欄に職務内容を表すキーワードを5つ以内で記入してください。</p> </div>		
教育上の能力に関する事項		
事項	年月日	概要
<p>1 教育方法の実践例</p> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 10px; margin-top: 10px;"> <p>次の例示のような項目を起こして記載してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・優れた教育方法の実践例 ・マルチメディア機器を活用した授業方法 ・学生の授業外における学習促進のための取り組み ・講義内容のweb上での公開 ・課題・レポートの活用（効果的な題材、評価方法等工夫点について） ・演習・実習の効果的な活用 ・教育におけるe-mail利用 ・遠隔技術の利用 ・視聴覚教育技術の利用 ・市販教材の活用の工夫 ・体験型学習の導入 ・双方向授業の実践 ・ディベート・ディスカッションの導入 ・プレゼンテーションの導入 ・シラバスの活用 ・ティーチング・アシスタントの活用 ・学生の授業評価の活用とそのフィードバック ・その他、教育効果を高めるための取り組み等 </div>	<p>昭和〇年〇月 ～平成〇年〇 日</p>	<div style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 10px; margin-top: 10px;"> <p>次の例示のような内容を盛り込んで記載してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 当該教育方法を実践した科目 例： 〇〇大学〇〇学部〇〇学科の教授として担当の「〇〇〇論」（専門科目、〇年次配当、半期、必修〇単位）において・・・ ・ 実践例の具体的内容 ・ 当該教育方法を実践したことの効果 例： 学生の理解度が向上した。 例： 学生アンケートの結果からも、学生の満足度が高い。 </div>

<p>2 作成した教科書、教材</p> <p>平成○年○月 ～平成○年○ 月</p> <p>作成した教科書、教材、講義で教科書として使用している著書、教材等を掲げてください（後の「著書、学術論文」との重複も可。その場合、後掲の著書、学術論文の表題の下に「(再掲)」と表示）</p> <p>※ 出版された教科書だけでなく、授業を行うにあたって学生の理解を促し、教育効果を高めるために工夫した教材についても記載可です。</p> <p>例： 講義用教材 補助教材（プリント冊子） 実験・実習指導用マニュアル スライド、ビデオ等の作成等</p>		<p>以下の内容を盛り込んで、記載してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 当該教科書・教材を使用した科目 例： ○○大学○学部○○学科の教授として担当の「○○○○論」（専門科目、○年次配当、半期、必修○単位）において・・・ ・ 作成・使用の具体的内容 ・ 当該教科書・教材の作成・使用の効果
<p>3 教育上の能力に関する大学等の評価</p> <p><input type="checkbox"/> 採用決定の際等における評価内容 <input type="checkbox"/> 各大学における自己点検・評価での評価結果 <input type="checkbox"/> 学生による授業評価、教員による相互評価等の結果</p>		
<p>4 実務の経験を有するものについての特記事項</p> <p>・この欄は、原則として大学以外の企業・施設等において専門職として従事した実務経歴が業績の中心となる方のみ記載してください。</p> <p>・この欄は、教育に関する事項について記述してください（実際の職務実績については、後段の「職務上の実績に関する事項で記述してください」）。</p>		<ul style="list-style-type: none"> ・ 大学から受け入れた実習生に対する指導（看護・福祉実習、企業実習等） ・ 日本薬剤師センター等の職能団体の依頼による研修指導 ・ 訴訟・審判・監査・与信・企業提携・研究開発等の専門的な実務に関する教育・研修 ・ 大学の公開講座や社会教育講座における講師、シンポジウムにおける講演等 ・ その他、所属機関や関係機関等において行った講義、講習、講演、職員・関係者に対する指導等
<p>5 その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 大学教育に関する団体等での活動 ・ 教育実績に対する表彰等 ・ 国家試験問題の作成等 ・ 学位論文指導実績等 ・ その他、大学等における教育実績（担当歴のある授業科目等を記述） 		
職務上の実績に関する事項		
事 項	年 月 日	概 要
<p>1 資格、免許</p> <p>平成○年○月</p> <p>・ 医師、歯科医師、薬剤師、看護師、教員等で担当予定授業科目に関連するもの ・ 学位についても記入してください</p>		
<p>2 特許等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 特許、実用新案等で担当予定授業科目に関連するもの ・ 意匠登録を含む 		<p>※ 特許の内容、本人担当部分、共同研究者名等について記入。</p>

3 実務の経験を有する者についての特記事項		
<p>・職務の状況（臨床歴及び実務歴についてその仕事の内容）を詳しく記述してください。</p>		
<ul style="list-style-type: none"> ○ 実務経験の記載方法については、「職歴」欄に記入した実務歴に関して、担当予定の科目に対応させて下記の事項を参考に記載してください。 <ul style="list-style-type: none"> ① 従事した期間 ② 職務の内容（どのような職務に就いて、どのような役割を果たしたか） ③ 成果、結果 ○ 大学との共同研究 ○ 訴訟・審判・監査・与信・企業提携・研究開発等の担当実績 ○ 各種審議会・行政委員会・各種ADR等の委員 ○ 行政機関における調査官等 ○ 研究会・ワークショップ等での報告や症例発表 ○ 調査研究・留学、海外事情調査等 ○ 上記を裏付ける報告書、手引き書、マニュアル、雑誌等 例) 医師や看護師等医療技術者の場合 <ul style="list-style-type: none"> ・症例研究会での発表等の概要 例) 福祉その他社会的活動の関係者の場合 <ul style="list-style-type: none"> ・参加した活動や団体の名称、活動内容・機関、本人の当該活動における地位 	<ul style="list-style-type: none"> ※ 特に、実務家教員は、この部分が重要です。 ※ 職務上の実績に関する事項として、本人の当該専門分野に関する実務の経験等について、近年の当該分野の実務に関する状況等に通じていることなどを含め、詳細に記入してください。 	
4 その他		
<p>1から3に該当するもの以外の事項について幅広く記載してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 実務に関する受賞歴（研究助成も含む）、実務に関連した社会的活動等。 ○ 職能団体等からの実務家としての卓越性に関する評価・推薦等 ○ 論文の引用実績等 		

研究業績等に関する事項

※ 書類の作成時において未発表のものは記入できません。

（1）「著書、学術論文等の名称」欄

- ① 著書、学術論文等は、（著書）（学術論文）（その他）の3つに区分し、当該見出しを記入の上、その区分ごとに番号（1. 2. . . .）を付して、年代順（過去→現在）に記入して下さい。
- ② 著書については、書名を記入してください。
- ③ 学術論文については、国際学術雑誌、学会機関紙、研究報告等に学術論文として発表したものの題名を記入してください。学位論文については、その旨を明記してください。
- ④ その他については、総説、学会抄録、依頼原稿等にあつては当該記事のタイトルを、報告発表、座談会、討論等にあつては当該テーマを記入してください。
- ⑤ 査読付きの論文については、題名の後に「（査読付き）」と記載してください。

「単著、共著の別」欄

当該著書等に記載された著作者が単独である場合には、「単著」、著作者が複数いる場合には、監修、編集、編著、共著、部分執筆の関わり方によらず、「共著」と記入してください。

「発行又は発表の年月」欄

- ① 西暦でなく年号を用いて記入してください。
- ② 学位論文は、大学から学位を授与された年月を記入してください。

「発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称」欄

- ① 著書については、発行所を記入してください。
- ② 学術論文等については、発表雑誌等の名称、巻・号、掲載ページ等を明記してください。
- ③ 「学位論文」は、学位を授与された大学名を記入してください。

本人の担当部分の章、節、題名、掲載ページを記入

<p>2. ○○○○○ (査読付き)</p>	<p>共著</p>	<p>昭和○年○月</p>	<p>「○○○○○概要」 第○巻第○号 掲載ページ</p>	<p>○○○○○・・・ (200字程度以上) ・・・○○○○○ pp.○～○ 本人担当部分：○○○○○○○ pp.○～○ 共著者：○○○○○、○○○○○、○○○○○、</p>
<p>3. ○○○○○ (博士論文)</p>	<p>単著</p>	<p>学位授与年月</p>	<p>学位授与大学名</p>	<p>○○○○○・・・ (200字程度以上) ・・・○○○○○ A4判全○頁</p>
<p>4. ○○○○○</p>	<p>共著</p>	<p>平成○年○月</p>	<p>○○学会誌「○○○ ○○」 第○巻第○号</p>	<p>○○○○○・・・ (200字程度以上) ・・・○○○○○ pp.○～○ 本人担当部分：共同研究につき抽出不可能 or 実験結果の○○(ご本人専門分野からのアプローチを記載)○○的見地から評価し、論文のとりまとめを行った。等 共著者：○○○○○、○○○○○、○○○○○、○○○○○、○○○○○、○○○○○</p>

(その他)

総説、学会発表(学会抄録)、依頼原稿等にあつては当該記事のタイトルを、報告発表、座談会、討論等にあつては当該テーマを記入してください。その際、それぞれ適宜区分し、小見出しを記入してください。

<p>(翻訳) 1. ○○○○ (邦訳表題) 原書名：○○○○○ 原著名：○○○○○</p>	<p>共著</p>	<p>昭和○年○月</p>	<p>○○○出版社</p>	<p>○○○○○・・・ (200字程度以上) ・・・○○○○○ A○判 全○頁 本人担当部分：○○○○○○○ pp.○～○ 監修：○○○○○ 共著者：○○○○○、○○○○○、○○○○○、○○○○○、○○○○○、○○○○○</p>
<p>(学会発表) 1. ○○○○○○</p>	<p>共著</p>	<p>昭和○年○月</p>	<p>○○学会第○回大会 (於○○大学)</p>	<p>○○○○○・・・ (200字程度以上) ・・・○○○○○ 本人担当部分：○○○○○ pp.○～○ 監修：○○○○○ 共著者：○○○○○、○○○○○、○○○○○、○○○○○、○○○○○、○○○○○</p>